



健康づくりは  
幸せづくり

Making Health  
is making happiness

証券コード ● 4559

第69期

# 株 主 通 信

2022年4月1日～2023年3月31日

## Contents

株主の皆様へ	P.1
営業の概況（連結）	P.3
研究開発の状況	P.5
研究開発パイプライン	P.6
生産物流の状況／次期の見通し	P.7
株主様ご優待のお知らせ	P.8
トピックス	P.9
財務諸表（連結）	P.11
会社情報	P.13
株式情報	P.14
株主メモ	



ゼリア新薬

Z E R I A



代表取締役会長兼CEO

伊部 幸顕

代表取締役社長兼COO

伊部 充弘

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

第69期の事業概況に関しまして、ここにご報告させていただきます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、ウィズコロナのもとで各種政策の効果もあって社会経済活動は正常化へと向かいつつあり、個人消費や企業の設備投資に持ち直しの動きがみられました。一方、新型コロナウイルス感染拡大によるインバウンド需要の減少は本格的な回復には至らず、さらに長期にわたるロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー・原材料価格の高騰や物流コストの上昇、急激な円安の進行、海外経済の減速要因などが、今後のわが国経済に与える影響について、不透明感の増す状況が続いております。

医薬品業界におきましては、医療用医薬品は、薬価の毎年改定や後発医薬品の使用促進などの医療費抑制策が従来にも増して強力に推進されており、事業環境は一層厳しさを増しております。また、OTC医薬品市場におきましても、市場競争の激化に加え、インバウンド需要の低迷などにより、ともに厳しい環境下で推移いたしました。

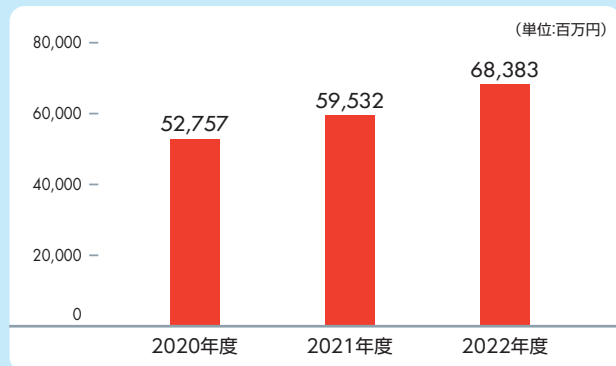
このような状況の中、当社グループは、第10次中期経営計画(2020年度～2022年度)の最終年度にあたる当連結会計年度において、グローバル展開を強力に推進する中、Tillotts Pharma AGが主に欧州地域にて販売中のクロストリジウム・ディフィシル感染症治療剤「ディフィクリア」が大きく寄与し、海外売上高を大幅に拡大させました。一方、国内市場におきましては、医療用医薬品事業は薬価改定の影響などを受け苦戦し、コンシューマーヘルスケア事業もヘパリーゼ群などの売上増加により回復基調とはなったものの、全体としては十分な成果を上げるには至りませんでした。

これらの活動の結果、当連結会計年度の売上高は、683億83百万円(前期比14.9%増)となりました。利益につきましては、営業利益90億14百万円(前期比41.6%増)、経常利益75億79百万円(前期比27.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益61億95百万円(前期比56.4%増)となり、売上高、利益ともに過去最高の実績となりました。

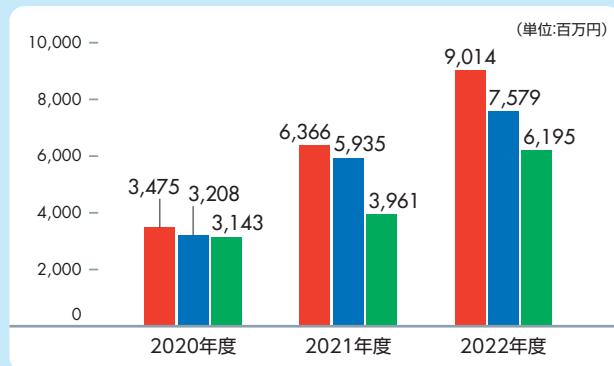
なお、当連結会計年度の海外売上高比率は47.4%(前期41.4%)となっております。

また、クロストリジウム・ディフィシル感染症治療剤「ディフィクリア」につきましては、当社グループの事業基盤強化に資するM&A、アライアンスに積極的に取り組む中、国内につきましても2023年4月にアステラス製薬株式会社より製造販売承認を承継し、販売を開始いたしました(国内販売名:ダフクリア)。

## 売上高



## 営業利益(■)／経常利益(■)／ 親会社株主に帰属する当期純利益(■)

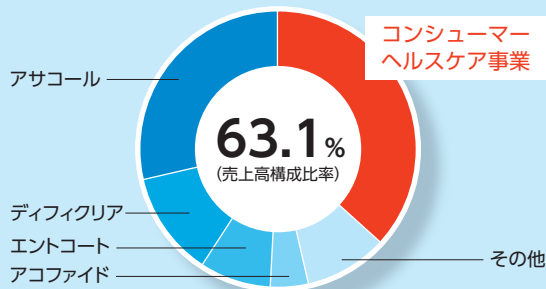


# 営業の概況(連結)

## ▶売上高

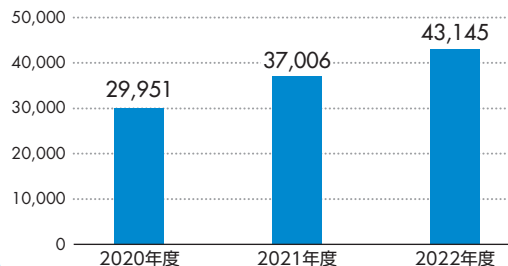
**431億45百万円** 前期比 16.6%増

## ▶主要製品売上高



アサコール	195億円
ディフィクリア	83億円
エントコート	56億円
アコファイド	31億円

## ▶医療用医薬品事業連結売上高(単位:百万円)



## ■医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール」につきましては、国内市場においては薬価改定や競合品の影響を受け、苦戦いたしました。海外市場において1600mg製剤の伸長を背景に北欧やイギリスなどの地域で好調に推移した結果、全体では増収となりました。炎症性腸疾患治療剤「エントコート」(国内販売名:「ゼンタコート」)につきましては、カナダならびに2021年に現地法人を設立し、自販体制に移行したイタリアなどで伸長し、売上が増加いたしました。なお、2022年9月より欧州の一部の国で後発医薬品が上市されたものの、当連結会計年度の業績への影響は軽微でありました。また、クロストリジウム・ディフィシル感染症治療剤「ディフィクリア」につきましては、欧州の感染症診療ガイドラインで第一選択薬として推奨される中、営業リソースを積極的に投入した結果、売上が大幅に拡大いたしました。2020年9月に国内において上市いたしました鉄欠乏性貧血治療剤「フェインジェクト」につきましては、産婦人科・消化器科領域を中心に市場構築に努めております。

これらの結果、当事業の売上高は、431億45百万円(前期比16.6%増)となりました。

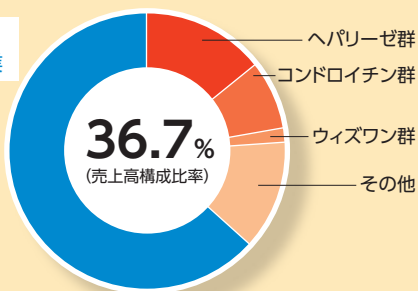


## ▶ 売上高

**250億85百万円** ▶ 前期比 12.1%増

## ▶ 主要製品売上高

医療用  
医薬品事業

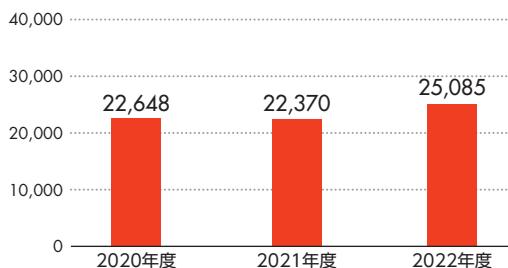


ヘパリーゼ群 **98**億円

コンドロイチン群 **54**億円

ウィズワン群 **12**億円

## ▶ コンシューマーヘルスケア事業連結売上高 (単位:百万円)



## ■ コンシューマーヘルスケア事業

主力製品である「ヘパリーゼ群」につきましては、引き続き新型コロナウイルス感染症やインバウンド需要停滞の影響を受けたものの、医薬品ヘパリーゼ群・コンビニエンスストア向けヘパリーゼW群ともに回復基調となり、売上は増加いたしました。また、「コンドロイチン群」につきましても、積極的な広告宣伝投資などの効果もあり堅調に推移いたしました。

一方、植物性便秘薬「ウィズワン群」につきましては、競合品の影響などにより苦戦いたしました。

なお、製品ラインアップ強化に努め、ローヤルゼリーを有効成分として配合した滋養強壮保健剤「ハイゼリー顆粒EX」やコンドロイチン配合点眼薬「ビュークリアHi40アクティブ」などの新製品を発売いたしました。また、月経前症候群(PMS)治療薬「プレフェミン」につきましては、2023年4月より第2類医薬品に移行したことで取扱店舗の増加が見込まれることから、さらなる製品認知度向上に努めております。

これらの結果、当事業の売上高は、250億85百万円(前期比12.1%増)となりました。



OTC医薬品



ヘパリーゼ®W  
シリーズ

研究開発におきましては、Tillotts Pharma AGとの連携によるグローバル開発体制のもと、開発テーマを厳選のうえ、重点領域である消化器分野を中心に、導入品を含めた新薬の研究開発を推進してまいりました。

「Z-100」につきましては、新たな適応症での早期臨床試験の開始に向けて、臨床開発計画の策定ならびに非臨床試験を進めております。

自社オリジナル品の「Z-338(一般名:アコチアミド)」につきましては、Meiji Seika ファルマ株式会社およびFAES FARMA, S.A.との独占的開発・販売に関するライセンス契約に基づき、機能性ディスペプシアを適応症として、それぞれタイ・インドネシアおよびラテンアメリカ12カ国で申請し、ラテンアメリカ地域のメキシコを含む5カ国で承認を取得いたしました。また、国内におきましては、小児機能性ディスペプシア患者を対象としたフェーズⅢ試験を実施しており、主として薬物動態および安全性を確認するPart1を完了し、有効性および安全性を確認するPart2を推進しております。さらに、自社オリジナル品アコチアミドのさらなる医療への貢献を目指した新テーマ「ZG-802」につきましては、超高齢社会が進展する中、世界的に医学的な関心が高まっているものの、いまだ有効な薬物療法が確立されていない低活動膀胱を対象としたフェーズⅡ試験を国内で開始いたしました。

スイスVifor (International) AGから導入いたしました

「ZG-801」につきましては、国内において高カリウム血症を対象としたフェーズⅢ試験を終了し、申請に向け準備を進めております。

コンシューマーヘルスケア製品につきましても、当社オリジナルのフリーズドライ製法を採用したローヤルゼリーを含有する医薬品「ハイゼリー顆粒EX」などの特長ある製品を順次発売いたしました。

# 研究開発パイプライン

## 新薬パイプラインの状況

### I. 国内開発状況

(2023年5月11日現在)

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
申請準備中	ZG-801／パチロマーソル ピテクスカルシウム	ゼリア	高カリウム血症	陽イオン結合 非吸収性ポリマー	導入品
フェーズⅢ	Z-338／アコチアミド	ゼリア	小児機能性 ディスペプシア	上部消化管 運動改善作用	自社品
フェーズⅡ	ZG-802／アコチアミド	ゼリア	低活動膀胱	下部尿路機能 改善作用	自社品
フェーズⅡ* (医師主導治験)	Z-338／アコチアミド	九州大学	食道胃接合部通過障害	上部消化管 運動改善作用	自社品

\*:日本医療研究開発機構 (AMED) の助成事業に採択

### II. 海外開発状況

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
フェーズⅢ (欧州)	Z-338／アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペプシア	上部消化管 運動改善作用	自社品
承認 (メキシコ、ホンジュラス、 ドミニカ共和国、エクアドル、チリ)	Z-338／アコチアミド	Faes Farma	機能性ディスペプシア	上部消化管 運動改善作用	自社品 (導出)
申請中 (コロンビア、ペルー、コスタリカ、 グアテマラ、パナマ、ニカラグア、 エルサルバドル)	Z-338／アコチアミド	Faes Farma	機能性ディスペプシア	上部消化管 運動改善作用	自社品 (導出)
申請中 (タイ、インドネシア)	Z-338／アコチアミド	Meiji Seika ファルマ	機能性ディスペプシア	上部消化管 運動改善作用	自社品 (導出)

ご参考

#### フェーズⅠ (第Ⅰ相臨床試験)

動物実験を終えて効き目(有効性)と安全性が確認された「薬の候補」は、少人数の健康な方を対象に試験されます。安全性はもとより、どのくらいの時間で体内に吸収され、どのくらい体外へ排泄されるのかを調べます。

#### フェーズⅡ (第Ⅱ相臨床試験)

第Ⅰ相臨床試験で安全性が確認されたら、少人数の患者さんで「薬の候補」の効き目(有効性)、副作用(安全性)、投与量、投与方法などの適切な使用方法をプラセボ\*と比較しながら調べます。

#### フェーズⅢ (第Ⅲ相臨床試験)

多数の患者さんに投与することで、「薬の候補」の最終的な効き目(有効性)、副作用(安全性)、および使用方法を調べます。その際、「薬の候補」と現在使われている他の薬あるいは、プラセボと比較する試験を行います。多くの場合、二重盲検比較試験と呼ばれる厳密な方法で実施されます。

※プラセボ 有効成分を含まず、外見や味などで「薬の候補」と区別がつかない偽薬

# 生産物流の状況／次期の見通し

## ● 生産物流の状況

生産物流部門におきましては、原材料やエネルギーの価格が高騰する中、新型コロナウイルス感染症への対策を実施しつつ、品質確保および安定供給を前提に、生産の集約や内製化の推進による原価低減に取り組んでまいりました。

生産関連部門につきましては、新型コロナウイルス感染症による各工場での感染リスク対策の徹底と操業停止リスクを想定した前倒し生産による製品在庫の確保を推進するとともに、後発医薬品の供給不安を補うための増産を実施し、安定供給の維持を図りました。また、当社が保有する埼玉・筑波両工場に子会社2社が保有する工場（健創製薬株式会社つくば工場、イオナ インターナショナル株式会社福島工場）を併せた国内4工場の生産体制の見直しを行い、生産ラインの集約化や内製化を順次進めております。この動きを加速し、今後とも一層の原価低減に取り組んでまいります。

物流関連部門につきましては、共同配送の強化策として、今後とも参加企業の拡大を主体とした体制強化を推進し、さらなる業務効率化と物流コストの低減を図ってまいります。

なお、昨年度に引き続き、一部の後発医薬品製造販売業者などによる承認書と製造実態との乖離およびGMP省令違反に起因する大規模な回収事例が頻発しており、行政による製造所の査察体制が強化されております。当社各工場におきましては、これらの違反事例をもとに適宜再点検を実施し問題がないことを確認するとともに、GMP体制強化のために本社組織による品質保証の一元管理体制を開始いたしました。今後とも各工場における

クオリティーカルチャー（品質を優先した企業文化）の浸透を図るとともに、品質管理部門や本社担当部門による監督の体制強化を通して、万全を期してまいります。

## ● 次期の見通し

2024年3月期の通期連結業績につきましては、売上高730億円（前期比6.8%増）、営業利益91億円（前期比0.9%増）、経常利益90億円（前期比18.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益70億円（前期比13.0%増）と予想しております。

### 売上高

医療用医薬品事業につきましては、主に海外市場において引き続き主力製品である「アサコール」や「ディフィクリア」の伸長が見込まれることから、増収を予想しております。また、コンシューマーヘルスケア事業につきましても、「ヘパリーゼ群」や「コンドロイチン群」の売上増加に加えて、2022年10月に発売した滋養強壮保健剤「ハイゼリー顆粒EX」や2023年4月より第2類医薬品に移行した月経前症候群（PMS）治療薬「プレフェミン」などの寄与により増収を見込んでおります。

### 利益

エネルギー・原材料価格高騰の影響や研究開発費などの経費の増加が見込まれるものの、売上高の増加により営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに増益を予想しております。なお、為替レートにつきましては、2023年1～4月の状況が続く前提の予想としております。



# 株主様ご優待のお知らせ

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待を行っております。当社株式1,000株以上をご所有の株主様にはA～G、7つのコースからご希望のいずれかを、100株以上1,000株未満をご所有の株主様にはHコースをお届けいたします。ご試用によって、当社グループの幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくお願い申し上げます。



## A コース

清涼飲料水・指定医薬部外品・  
特定保健用食品

「アルミ缶入りドリンク詰め  
合わせヘパリーゼ®Wセット」



## E コース

上質なうるおいを  
体感する3品目

「IONAベーシック  
スキンケア3点セット」



## B コース

栄養補助食品

「コンドロサポート®  
詰め合わせ」

288粒入り1個/90粒入り3袋



## F コース

コンドロイチン研究を活かした、  
うるおい体感の上質スキンケア

「イオナ R スペシャルケア  
2点セット」



## C コース

化粧品・医薬部外品・  
栄養補助食品

「コンドロマックス®・  
アポステイー®セット」



## G コース

健康補助食品

「シーアルパ®100」  
180粒入り1個



## D コース

スパ発想の  
オールインワン化粧品

「イオナ スパ&ミネラル  
詰め合わせ」



## H コース

肝臓エキス配合炭酸飲料

「ヘパリーゼ®W炭酸」  
10本



E,Fコースの製品はゼリアオンラインショップ (<https://www.zeriaonline.com/>) でお買い求めいただけます。

## ハイゼリー顆粒EX発売

2022年10月、ローヤルゼリーを有効成分として配合した第3類医薬品「ハイゼリー®顆粒EX」を発売しました。ローヤルゼリーには40種類以上の栄養素が含まれており、身体のバランスを整えて滋養強壮効果を発揮します。また、ローヤルゼリーとともにビタミンB<sub>6</sub>・Eを配合し、さらに米ヌカ抽出成分のガンマ-オリザノール、アミノ酸の1種のグリシン、血行促進にはたらきかけるショウキョウが効果を発揮します。食欲不振や病中病後などの栄養補給に効果的で虚弱体質の方におすすめです。ジンジャー風味の服用しやすいサラサラ顆粒をスティック包装しており、携帯にも便利です。



## ダフクリア錠承継

当社はClostridioides (Clostridium) difficile\*による感染性腸炎治療剤「ダフクリア錠200mg」(一般名:フィダキソマイシン、以下「ダフクリア」)の日本における製造販売承認をアステラス製薬株式会社から承継し、2023年4月より販売を開始しました。

これに先立つ2020年11月、当社の100%子会社Tillotts Pharma AGが「ディフィクリア錠」(ダフクリアの海外製品名)の欧州、中東、アフリカおよび独立国家共同体(CIS)における製造販売権を承継しました。承継直後の2021年、欧米の診療ガイドラインにおいて、フィダキソマイシンがClostridioides (Clostridium) difficile治療の第一選択薬に推奨されたのを機に、海外市場で「ディフィクリア錠」の売上は大きく伸長し、ゼリアグループの収益拡大に貢献しています。

ゼリアグループは、ダフクリア錠ならびにディフィクリア錠の安定供給に努め、日本国内外の感染性腸炎治療に貢献してまいります。

\*Clostridioides (Clostridium) difficile

大腸に感染し毒素を産生する細菌で、その産生する毒素は大腸炎や重篤な下痢を引き起こし、最悪の場合は死に至ることがあります。腸内細菌のバランスが正常な環境ではこの細菌の増殖は抑制されますが、抗菌スペクトルの広い抗菌剤の使用等によって腸内細菌のバランスが崩れると異常増殖し、重篤な感染症を引き起こします。

# 財務諸表(連結)

## 連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円、端数切捨て)

科 目	期 別	前連結会計年度	当連結会計年度	科 目	期 別	前連結会計年度	当連結会計年度
		2022年3月31日現在	2023年3月31日現在			2022年3月31日現在	2023年3月31日現在
<b>[資産の部]</b>				<b>[負債の部]</b>			
<b>流動資産</b>		<b>41,663</b>	<b>48,203</b>	<b>流動負債</b>		<b>44,193</b>	<b>47,158</b>
現金及び預金		11,704	16,219	買掛金		2,049	1,996
受取手形及び売掛金		16,206	17,512	短期借入金		33,842	34,890
たな卸資産		11,950	12,764	その他		8,300	10,271
その他		1,855	1,800	<b>固定負債</b>		<b>24,996</b>	<b>22,195</b>
貸倒引当金		△53	△93	長期借入金		18,385	14,541
<b>固定資産</b>		<b>82,618</b>	<b>86,830</b>	繰延税金負債		3,905	5,190
<b>有形固定資産</b>		<b>23,139</b>	<b>24,591</b>	退職給付に係る負債		1,073	234
建物及び構築物		6,875	6,967	その他		1,632	2,228
機械装置及び運搬具		1,921	1,570	<b>負債合計</b>		<b>69,189</b>	<b>69,353</b>
土地		12,354	12,359	<b>[純資産の部]</b>			
建設仮勘定		480	1,619	<b>株主資本</b>		<b>49,546</b>	<b>53,476</b>
その他		1,507	2,074	資本金		6,593	6,593
<b>無形固定資産</b>		<b>41,206</b>	<b>41,930</b>	資本剰余金		11,685	11,685
<b>投資その他の資産</b>		<b>18,273</b>	<b>20,308</b>	利益剰余金		48,860	53,462
投資有価証券		7,005	6,849	自己株式		△17,593	△18,264
繰延税金資産		108	136	その他の包括利益累計額		5,348	11,973
退職給付に係る資産		10,736	12,927	その他有価証券評価差額金		△193	△314
その他		475	442	為替換算調整勘定		3,215	8,015
貸倒引当金		△51	△46	退職給付に係る調整累計額		2,326	4,272
<b>資産合計</b>		<b>124,282</b>	<b>135,034</b>	非支配株主持分		197	230
				<b>純資産合計</b>		<b>55,092</b>	<b>65,680</b>
				<b>負債・純資産合計</b>		<b>124,282</b>	<b>135,034</b>

## 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円、端数切捨て)

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		2021年4月1日から 2022年3月31日まで	2022年4月1日から 2023年3月31日まで
売上高		59,532	68,383
売上原価		17,384	18,894
売上総利益		42,148	49,488
販売費及び一般管理費		35,782	40,473
営業利益		6,366	9,014
営業外収益		287	379
営業外費用		717	1,815
経常利益		5,935	7,579
特別利益		18	21
特別損失		231	328
税金等調整前当期純利益		5,721	7,272
法人税、住民税及び事業税		726	823
法人税等調整額		1,020	242
法人税等合計		1,746	1,065
当期純利益		3,974	6,206
非支配株主に帰属する当期純利益		13	10
親会社株主に帰属する当期純利益		3,961	6,195

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円、端数切捨て)

科目	期別	前連結会計年度	当連結会計年度
		2021年4月1日から 2022年3月31日まで	2022年4月1日から 2023年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー		8,950	13,157
投資活動によるキャッシュ・フロー		△2,892	△2,574
財務活動によるキャッシュ・フロー		△4,841	△7,415
現金及び現金同等物に係る換算差額		564	1,346
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		1,780	4,514
現金及び現金同等物の期首残高		9,668	11,579
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		129	—
現金及び現金同等物の期末残高		11,579	16,094

## 連結株主資本等変動計算書(要旨)

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位:百万円、端数切捨て)

	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	6,593	11,685	48,860	△17,593	49,546	△193	3,215	2,326	5,348	197	55,092
当期変動額											
剰余金の配当			△1,593		△1,593						△1,593
親会社株主に帰属する 当期純利益			6,195		6,195						6,195
自己株式の取得				△671	△671						△671
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						△121	4,800	1,946	6,625	32	6,658
当期変動額合計	—	—	4,601	△671	3,929	△121	4,800	1,946	6,625	32	10,588
当期末残高	6,593	11,685	53,462	△18,264	53,476	△314	8,015	4,272	11,973	230	65,680

## 会社概要

創 立	1955年12月
資 本 金	6,593,398,500円
社 員 数	1,729名(連結)
主な事業内容	1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、販売および輸出入 2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、衛生雑貨、医療機器の製造、販売および輸出入

## 事業所

- 本社
- 札幌支店
- 仙台支店
- 東京支店
- 名古屋支店
- 大阪支店
- 中四国支店
- 福岡支店
- 中央研究所
- 埼玉工場
- 筑波工場
- 札幌物流センター
- 東京物流センター
- 埼玉物流センター
- 大阪物流センター
- 九州物流センター

## 取締役および監査役 (2023年6月29日現在)

代表取締役会長 兼 CEO	伊 部 幸 顕
代表取締役社長 兼 COO	伊 部 充 弘
取締役 (社外取締役)	小 森 哲 夫
取締役 (社外取締役)	野 本 亀久雄
取締役 (社外取締役)	森 元 誠 二
取締役 兼 常務執行役員	岡 澤 有 輝
常勤監査役	遠 藤 広 和
常勤監査役	石 山 佳 治
監 査 役	中 由 規子
監 査 役	紙 透 大

## 主な子会社 (2023年6月29日現在)

- Tillotts Pharma AG (スイス)
- Tillotts Pharma AB (スウェーデン)
- Tillotts Pharma Ltd. (アイルランド)
- Tillotts Pharma UK Ltd. (英国)
- Tillotts Pharma Czech s.r.o. (チェコ)
- Tillotts Pharma Spain S.L.U. (スペイン)
- Tillotts Pharma GmbH (ドイツ)
- Tillotts Pharma France SAS (フランス)
- Tillotts Pharma Italy srl (イタリア)
- Pharmaceutical Joint Stock Company of February 3rd (ベトナム)
- ZPD A/S (デンマーク)
- ゼリアヘルスウエイ株式会社
- イオナ インターナショナル株式会社
- 健創製薬株式会社
- 株式会社ゼービス
- 株式会社ゼリアップ

## 執行役員 (2023年6月29日現在)

常務執行役員	加 藤 博 樹
執行役員	平 賀 義 裕
執行役員	河 越 利 明
執行役員	草 野 研 治
執行役員	岩 井 充
執行役員	秋 庭 和 広
執行役員	鈴 木 健 一
執行役員	桜 井 政 和

取締役の兼任を除く

## 株式の状況

①発行可能株式総数	119,860,000株
②発行済株式総数	53,119,190株
③株主数	11,376名

## 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
有限会社伊部	4,741,847	10.8
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	3,205,000	7.3
株式会社三菱UFJ銀行	2,107,050	4.8
森永乳業株式会社	1,840,215	4.2
伊部幸頭	1,592,967	3.6
株式会社三井住友銀行	1,406,131	3.2
株式会社みずほ銀行	1,406,053	3.2
株式会社りそな銀行	1,182,385	2.7
あいおいニッセイ同和 損害保険株式会社	944,560	2.1
SMBCファイナンスサービス株式会社	900,900	2.0

(注)持株比率については、自己株式(9,038,982株)を控除して算出しております。

## 株価および出来高の推移

株価(円)

2,500 -

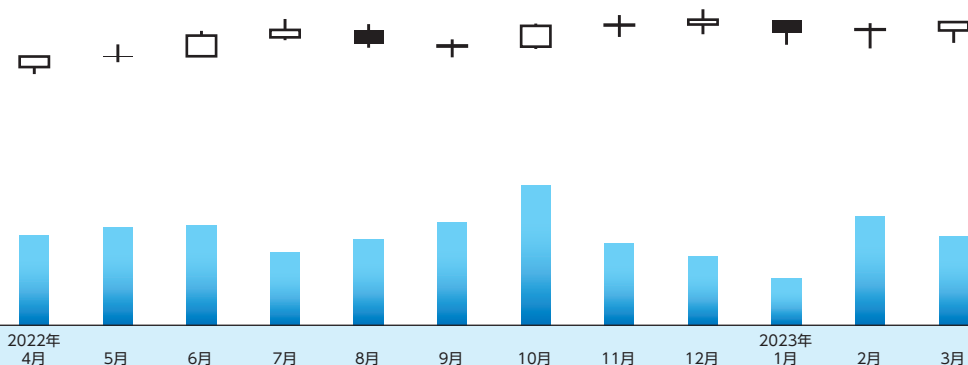
2,000 -

1,500 -

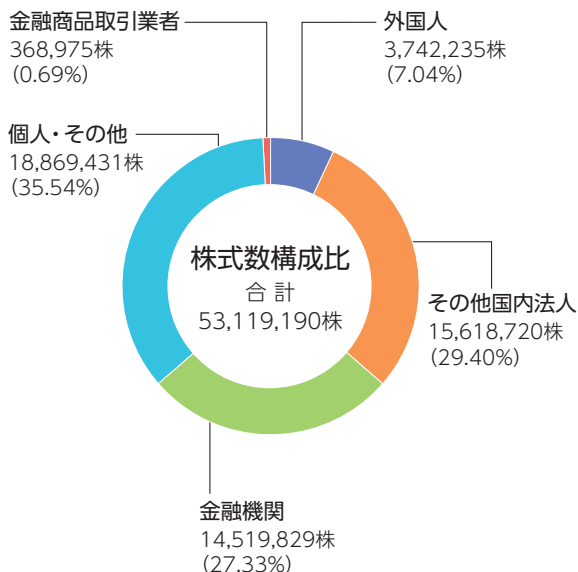
1,000 -

500 -

0



## 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年6月下旬		
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日	郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 <a href="https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/">https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/</a>		

### ▶住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### ▶未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください

当社ではスピーディーに正確な情報をご提供するため、ホームページを開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュースまで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。

<https://www.zeria.co.jp/>



## ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11  
TEL 03-3663-2351(代表) FAX 03-3663-2352  
03-3661-2080

<https://www.zeria.co.jp/>

健康づくりは幸せづくり



ゼリア新薬

ZERIA